

# 家電製品への制振材料の応用

(株)日立製作所多賀工場 鹿森 保

## 1. まえがき

集合住宅に住む人にとって、夜間の洗濯や掃除は近所に気をつかうものである。昼間はなかなか時間がとれない共働きの世帯や単身世帯では、音の静かな洗濯機や掃除機が欲しいという根強いニーズがある。

このようなニーズにこたえて登場したのが“静音”家電である。家電製品の低騒音化はこれまでも進められてきたが、ここ1～2年、静かな音を前面に押し出した製品が次々に発売され、静音家電と呼ばれブームになっている。

### 1-1 深夜の家事と共同住宅

これらの静音ブームの背景にはいくつかの要因が考えられる。

家電品の中で特に洗濯機、掃除機など家事商品については、

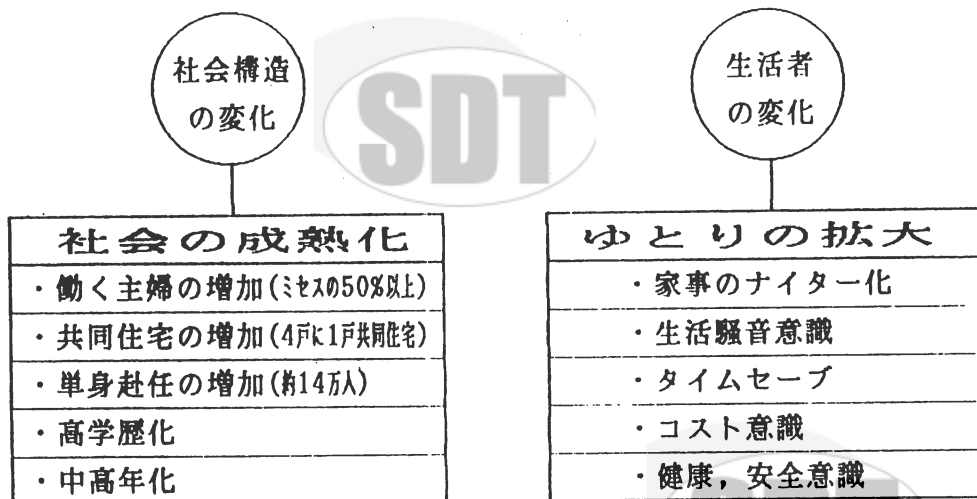


図1 家事商品を取りまく環境

社会の成熟化に伴い、ゆとりの拡大を求めるように世の中は大きく変わって来ている。この中で働く主婦の増加は、昭和50年の595万人から昭和62年には942万人へと大幅に増加している。

その結果、洗濯や掃除を深夜や早朝に行う傾向がますます強まっている。そこで図2の如く日立で調べて見ると、朝食前の6～8時が最も洗濯が多く、夕食後も洗濯する傾向が見られる。約60%の主婦が早朝か夜間に洗濯している実態が見られる。